

委員会の審査から

市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願等、各所管事項について詳細にわたり審査を行いました。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

文教社会

総務

私立学校誘致検討事業

委員 教育文化拠点ということで、私立学校の誘致の選択をした理由は。

未来づくりプロジェクト担当課長 一つは、この大きな土地をどうやったら使い切れるのか、民間事業者が参入したときにこういった事業が考えられるのか、駅からバスで約二〇分の立地にあってどう

いうところが参入できるのかを総合的に勘案した中で、最終的に私学誘致が一番好ましいのではないかと結論に至っています。

まちだ自慢推進事業
委員 何をもってまちだ自慢の推進を成果物としていくのか。

広報課長 まちだ自慢推進計画の売りは、市民が主役になり、シティプロモーションを推進していくという体制をつくることに軸足を置いています。まちだ自慢サポーターが数多く情報発信しているという状況が成果物になっていくと考えています。

オリンピックキャンプ地等招致事業

委員 オリンピック、パラリンピックのキャンプ地にどのくらい名乗りを上げているのか。

政策経営部次長 五月の段階での調査だが、二六市の中で本部会議を立ち上げているのは町田市だけです。今のところ四市が本部会議を立ち上げる準備を検討しているということです。隣の相模原市、横浜市は、推進本部というの

を立ち上げている状況です。あと、ほかの情報ですが、市単位ではなくて、県の規模で立候補しているというところが多いと聞いています。

委員 招致したいが、宿泊施設がないと思う。そこら辺はどう考えているのか。

政策経営部次長 オリンピック、パラリンピックを招致するに当たって、アクセス、宿泊、施設と三つのことを全部クリアしないとかなかなかできない。施設については、陸上競技場と体育館があるので、可能性があると考えています

が、アクセスの問題と、一番問題なのは、宿泊をかなり重視すると言われていますので、その点を今研究しているところです。いろんな大会を開催することによって情報収集していきたいと考えています。

災害対策費

委員 帰宅困難者対策で備蓄をするということだが、どこに置くのか。また、帰宅困難者受け入れ場所はどこを想定しているのか。

防災安全課長 町田駅周辺の帰宅困難者用の備蓄品をおさめる場所として、線路の反対側あたりに設置を予定しています。帰宅困難者を受け入れる施設としては、町田駅周辺で言いますと、市民ホール、生涯学習センター、市民フォーラム、文化交流センターです。

小学校給食調理業務委託事業

委員 二〇一五年四月から小学校給食調理の業務委託がスタートすることだが、

具体的には学校が何校で、どういった準備をするのか。

保健給食課長 六校の小学校で委託を予定しています。事前準備としては、保護者への説明、給食調理室内の備品の確認、四月からスムーズに委託が始められるように引き継ぎなどの準備も必要になってくると思います。

委員 六校というのはもう決まっていると思うのだが、どういったところから六校を選んでいるのか。

保健給食課長 六校の選定ですが、調理業務委託に関する検討会、校長会にいろいろと意見を伺いながら委託の選定について検討させていた

だいてるところです。
委員 今後も民間委託を進めていくのか。小学校給食が全部委託になってしまうのか。

保健給食課長 正規調理員の退職の動向に合わせまして

今後委託を進めていくという方向性です。全校を委託するのですが、そちらに関しては一部直営校を残すという考えです。

認可外保育施設費

委員 保育士等処遇改善臨時特例の件だが、実際に保育士に渡っているのか確認できるようにしているのか。

子育て支援課長 分配については各保育園、法人に任せている状況です。各保育園で処遇改善の計画を立てていた

だき、それを職員に周知してそして支払っていただくという形をとっています。また、支払ったものについては実績報告を受けるという形になっています。

建設

健康福祉

町田市病院事業の設置等に関する条例の一部改正

委員 市民にとっては、これまでかかってきた科名と変わるの、戸惑いもあるかと思うが、これからの周知と、市民にとってわかりやすいという見解が本場にそうか。

市民病院総務課長 医療法及び施行令は各病院が持っている診療機能を一般に広く

告知することを主眼としています。院内の診療科をそのまま表示することではありませんので、市民にとっても従来どおりの診療科で受けていただくということになります。ただし、今後、広告したものをもとに院内の表示を市民にわかりやすくするよう検討していくことになると思います。

委員 病院側にとってのメリットは。

医事課長 今回標榜することに伴い、これまで保険扱いとなっていなかったような手術が保険診療として認められるということ。患者様の負担を少なくして、病院としても

そういった診療がふえてくるということ。病院の歳入面でもプラスになってくる面もあるかと思っています。

委員 漢方内科というのは新しくできた分野なのか。

医事調整担当部長 内科の一部として漢方内科がありまして。ここで標榜科として正式にやることによって広告できるようになるということになります。

成年後見制度推進費

委員 後見人になった場合

に、市民の方は専門知識がつかどうか逆に限られた範囲でしかつかないと思う。そういう場合での支援というのは行政としてあるのか。

地域福祉部次長 町田市の市民後見人としてお願いするのは東京都の研修を受けた方です。東京都が認めた市民後見人というのは社会貢献型後見人という東京都だけが使っている言葉ですが、この社会

貢献型後見人を目指す方のための基礎講習というのをまず受けていただいて、そうしますと、後見監督というのを後見人の後ろにつけます。これは社会福祉協議会になります。市民後見人の後ろには社会福祉協議会が絶えずいて、社会福祉協議会が市民を支えるというような構造になっています。

都市計画事務費

委員 南町田北口広場の整備に関して、官民連携とあるが、具体的に説明を。

都市づくり部次長 官民連携については、民間の創意工夫によるこれまでにない新たな魅力を備えた空間整備、その魅力ある空間に民間ならではの多様なアイデアを盛り込んだ運営によって、高質で

できるかどうか、官民連携しているかどうかの手法について検討していく。具体的に、指定管理等も含めまして、PFIの導入ですとか、いろいろな形で手法を検討して、鶴岡公園の整備と南地域にある

ます公園の包括的な管理運営等の手法について検討していくということ。です。

委員 小山田周辺まちづくり検討の対象区域というのはどの辺までを検討対象としているのか。

都市づくり部次長 新駅の構想や農免道路の整備も視野に入れて、まちづくりは検討していきたいと考えています。ただ、その範囲については、どのような形で検討するかは今後の内容になります。

相原駅西口広場築造事業費

委員 最低限今のバスの折り返しの分はもう使わなくても済むのか。

建設部次長 バスについては駅前広場と全体を含めて、二〇一五年度で終わらせること。今考えています。この事業が終われば、バスについても全て駅前広場に乗り入れて

いただくという形になりますので、今使っているバスの折り返し所は使わなくなります。

町田市公共下水道事業(二〇一四年度から二〇一五年度までの事業の一部)に関する業務委託契約

委員 今年度の整備を行うことによって、雨水幹線の整備率が全家庭の何パーセントぐらいになるのか。

下水道整備課長 まだ幹線の整備率自体は五、六〇パーセントというところになっています。雨水の浸水被害地区重点箇所というのを設けており、そこをまずは重点的に整備していくということで、単純に整備率を伸ばすというよりは、浸水被害地区をなくすという方向で今のところ雨水の整備を進めている状況です。